

学習内容報告書 フォーマット

学校名	長崎県立宇久高等学校 2
授業者	増山 沙弥香

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

探究活動 Uku Labo カミングジェネレーションプラン提言

1-2. 学年

3年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な探究の時間

1-4. 単元の概要

美しい海を中心に、自然豊かな資源を有している宇久島であるが、人口流出や後期高齢化などの問題を抱え、地域の活力が失われつつある。この問題を解決するために、高校生の視点でかつ実現可能なプランは何かについて考え、実践する。毎年活動内容は異なり、地元のために何ができるか生徒達の発案で活動内容は決定する。今年度は観光客誘致のために、「地元で育った自分たちだからできる宇久島の魅力が詰まった観光パンフレット」の制作を行う。今年度は地元の観光協会の協力を得、印刷と設置までの活動が可能である。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

自分たちが地域活性のために何ができるのか「問題を発見」し「考察」し「実践」の後「振り返る」ことがねらいである。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・地域の方や友人と協働し、活動に積極的に取り組む態度
- ・故郷を愛し、故郷に貢献しようという態度
- ・地域の課題を見つけ、解決策を模索する能力
- ・研究内容を分かりやすく伝えるために工夫し、発表する能力

1-7. 単元の展開（全35時間）

時数	学習活動・主な内容	①教師の指導 / ②主な評価 ③外部連携 / ④使用教材等
2	ガイダンス 全学年で探究活動に関するガイダンスを実施した後、学年で1年間の活動目的について確認を含むガイダンスを実施。	①問題意識をもって活動に参加できるよう、生徒への働きかける ②行動の観察 ④ワークシート
2	事前学習 宇久島の観光分野における現在の取り組みや問題点についての講話を受講。	①活動や講話が充実するよう適宜助言をする。 ②行動の観察 ③宇久町観光協会 ④ワークシート
2	ワークショップ 地域の問題を挙げ、活動の方向性を決める。 観光の分野に焦点を絞り、活性化案を考える。	①適宜助言をする ②行動の観察 ④ワークシート
2	デザインの講義 パンフレット制作にあたり、デザインの基礎についての講義を受講。	①行動の観察と適宜助言をする ②行動の観察 ③宇久町観光協会 ④ワークシート、既存のパンフレット
10	パンフレット作成 各自、アピールしたい地域の魅力について記事を書く。 レイアウト、文字の配置など読者を意識したページの構成を考え、制作する。	①行動の観察と助言をする ②行動の観察と成果物 ③宇久町観光協会 ④既存のパンフレット、本、インターネット
5	パンフレットの推敲 観光協会より改善点等の助言をもらい、よりインパクトのある観光パンフレットになるように改良する。	①適宜助言をする ②行動の観察 ③宇久町観光協会 ④既存のパンフレット、本、インターネット
12	研究のまとめ・発表 完成した成果物をどこに設置するか確認。 活動の振り返りを行い、地域に向けて発表会（オンライン）において発表する	①適宜助言をする ②行動の観察、ワークシート ③発表は地域住民（小学生・中学生・保護者・関連機関を含む）に対して行き、質問や助言をいただく ④ワークシート

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・宇久町観光協会が実施しているPR活動について知る。
- ・効果的に地元をPRするために高校生ができることは何かの糸口を見つける。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>《主な活動内容》</p> <p>①宇久町観光協会の目的を知る。</p> <p>②宇久町観光協会の実践例を知る。（成功・失敗例も含めて）</p> <p>③SNSを利用したPR活動の利点と欠点について学ぶ。</p> <p>④①～③をふまえ、高校生にしかできないことは何かを考える。</p> <p>《生徒の反応》</p> <ul style="list-style-type: none">・観光協会が実践している活動内容で、生徒達が知らない内容もあり、話に聞き入っていた。・海が美しいことから、宇久の海の色を様々なデザイン等に共通して用いていることを知り、活動に活かせないか考えていた。・SNSでの発信は閲覧に引っかからないことが多いことを知り、驚いていた。	<p>《教師の指導》</p> <ul style="list-style-type: none">・適宜助言をする・講話者に質問しやすい環境づくりを行う <p>《評価の視点》</p> <ul style="list-style-type: none">・行動の観察・ワークシートの記述の確認

3. 今回の活動の自己評価

- ・観光協会と連携し、支援していただいたことで今回の活動が実施できたので、早目の計画と支援依頼をしておいて良かったと思う。
- ・生徒に地元の魅力について気づかせることができた。
- ・生徒に他者を意識して表現することを見につけさせることができた。
- ・生徒に地元の問題点を認識し、その問題を解決しようとする姿勢を持たせることができた。
- ・活動の進捗状況を見誤り、時間の捻出をしなければならなかった。

4. 今後の課題

- ・地元への愛着とともに、将来地元へ貢献したいと思える生徒を育てていきたい。
- ・外部との連携を密にとり、生徒の視野を広げられる活動を行う。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。